

平成28年度実質当初予算 農林水産部主要施策の概要

◎予算編成のポイント

農林水産業の担い手の不足や高齢化の深刻化に加え、人口減少に伴う国内市場の縮小が見込まれ、農林水産業への影響はもとより、集落機能の低下が懸念されることから、農林水産業が将来にわたり持続的に発展していけるよう、成長産業化を促進するとともに、里山里海地域の振興に向け、各種施策を展開する。

◎重点主要施策の概要

- 「ものづくり産業の集積」という本県の強みを最大限に活かし、製造業のノウハウを積極的に取り入れ、新たな発想を持ち込むことで、生産工程の「見える化」や建設機械を活用した効率化を促進することにより、農林水産業の収益力向上に向けた取り組みを進める。
- ニーズの変化に対応した生産・販路の拡大を図るとともに、特色ある県産農林水産物のより一層のブランド化を推進するほか、食文化の総合力を活かした県産食材の海外展開を進める。
- 企業等の農業参入を促進するなど、意欲ある担い手を確保するとともに、新規就農者の確保・育成や担い手のスキルアップを支援するほか、担い手のニーズに対応した農地整備の推進などにより、地域の農業を支える多様な担い手の確保・育成を図る。
- 低コストで安定的な県産材供給体制の整備などにより、人工林資源の積極的な利活用を進めるとともに、県産材の加工流通体制を強化するなど、木材の利用を促進することにより、林業の活性化を図る。
- 水産物の安定供給のため、適正な天然資源の管理や増殖・養殖に取り組むとともに、持続的な漁業経営を確立するため、高鮮度・高付加価値な水産物の供給と意欲ある人材の育成により、漁業の振興を図る。
- 世界農業遺産「能登の里山里海」をはじめとする多様な地域資源を活用した生業づくりの支援や、「食」を中心とした石川型スローツーリズムモデルを推進するとともに、里山里海の多面的機能の発揮と安全・安心な地域づくりを進め、地域の強みを活かした里山里海の振興を図る。

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
農林水産業の成長産業化と里山里海地域の振興		
1 ものづくり産業と連携した新たな発想による農林水産業の収益力向上		
<ul style="list-style-type: none"> ・ コマツと連携した水稻生産コストの4割低減に向けた技術の普及 	17,000	㊦多機能ブルドーザを活用した水稻直播栽培技術の現地実証など
<ul style="list-style-type: none"> ・ トヨタと連携した生産工程の効率化推進 	5,500	㊦スマートフォンを活用した先進的な省力化モデルの普及(5法人)など
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内ものづくり企業と連携した農作業の省力化 	5,000	農業用機器の改良
<ul style="list-style-type: none"> ・ ㊦コマツの生産管理手法等の啓発を通じた農業者の意識改革 	1,000	いしかわ耕稼整での特別講座の開催
<ul style="list-style-type: none"> ・ ㊦コマツ・東レと連携した高収益型施設園芸モデルの確立 	18,000	地下水等の自然エネルギーを活用した低コスト生産技術の検証
<ul style="list-style-type: none"> ・ コマツと連携した先進的農業経営・林業経営モデルの確立 	21,300	㊦ICTブルドーザを活用した簡易で低コストなほ場の大区画化手法の実証、 ㊦ドローンを活用した森林資源量調査、高性能林業機械を活用した効率的な丸太計測と仕分け作業の実証など
2 ニーズの変化に対応した農林水産物の生産・販路の拡大と海外展開		
<ul style="list-style-type: none"> ・ アンテナショップを拠点とした県産食材の魅力発信 	2,300	旬の食材PRイベントの開催、首都圏ニーズの産地へのフィードバック
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特色ある県産食材の首都圏へ向けた販路開拓 	12,000	バイヤー等を対象とした「いしかわ百万石マルシェ」の開催
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新幹線沿線県での販路開拓 	2,000	県産食材の提案会・フェアの開催(長野県)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 流通産業との連携による売れる生産・販売体制づくり 	5,000	バイヤー等からの提案に基づく県産食材を活用した商品づくりなど
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地産地消の推進 	3,150	奥能登地域の特色ある食材の市場流通(奥能登直行便)への支援、受注懇談会による商工業者と農林漁業者のマッチングなど
<ul style="list-style-type: none"> ・ ルビーロマンのブランド化推進 	9,300	東京・大阪市場でのトップセールス、商品化率向上技術の実証・普及など

事業名	金額(千円)	説明
・ エアリーフローラのブランド化推進	8,350	豊富なカラーバリエーションを活かした販売促進、増産に向けた産地づくり
・ 能登牛1000頭出荷体制とブランド化推進	51,898	能登牛の増頭生産や繁殖農家の基盤整備に対する助成など
・ なしオリジナル品種の生産・販売体制の確立	2,550	出荷販売体制の整備、PR活動の支援など
・ 米オリジナル品種の生産・販売体制の確立	2,000	販売方針の検討、名称募集、PR活動の支援など
・ のとてまりのブランド化推進	5,000	生産量増加に向けた実証試験、◎首都圏百貨店におけるPR活動の支援など
・ 能登とり貝のブランド化推進	2,270	◎新たな養殖適地の選定調査、水温上昇等に対応した養殖技術指導など
・ 県産どじょうのブランド化による里山の振興と食文化の保全	2,252	◎本格出荷に向けたPR、◎協議会の設立など
・ ◎特色ある農産物の競争力強化	5,000	意欲ある産地のブランド化・販路拡大等への支援、特別栽培認証制度の創設
・ 新たな野菜産地づくりへの支援	3,500	市場ニーズに対応した野菜生産への支援など
・ 能登のこだわり農産物の生産支援	4,000	奥能登4JAによる能登棚田米のブランド化支援、能登7JAによる能登米の生産・販売支援など
・ 海外販路開拓に対する支援	11,500	シンガポール等の現地レストラン・バイヤーとのマッチング、◎台湾版百万石マルシェ(仮称)の開催など
・ 食品表示の適正化の推進	2,927	加工食品製造業者等への調査・指導など
3 地域の農業を支える多様な担い手の確保・育成		
・ いしかわ農業参入支援ファンド(140億円)による経営支援	5,000,000	耕作放棄地など担い手がない地域に参入する企業・農業法人への支援
・ ◎新規参入企業の生産拠点施設(植物工場)整備に対する助成	550,000	
・ 企業の農業参入に向けた基盤整備	515,916	継続2地区(羽咋市滝地区、穴水町鹿上地区)
・ いしかわ農業総合支援機構による農地集積の推進	358,000	農地の出し手に対する集積協力金の交付
・ 就農希望者に対する総合的な支援	37,000	いしかわ農業総合支援機構による農業のワンストップ窓口の運営、 ◎首都圏における就農相談会の開催、 農業法人での見学、◎短期研修、インターンシップの実施など

事業名	金額(千円)	説明
・ いしかわ耕稼塾による農業人材の育成 (一部再掲)	29,000	就農希望者に対する技術・経営研修、㊦女性農業者企画提案力育成塾の開催など
・ 新規就農者の育成支援	257,100	就農準備の支援と就農後の定着を図るための給付金
・ 担い手の経営基盤の強化	184,000	農業機械・設備の導入に対する支援
・ ほ場整備の推進(一部再掲)	3,296,001	新規9地区、継続25地区(㊦七尾市伊久留地区、 ㊦志賀町鹿頭地区、㊦小松市野田地区ほか)
・ かんがい排水施設の更新整備	688,034	継続4地区(大慶寺用水地区、 中村用水第2三期地区ほか)
・ 用排水機場等の長寿命化に向けた補修	305,958	新規1地区、継続10地区(㊦才田地区、能瀬地区ほか)
・ 広域営農団地農道の整備	781,892	継続1地区(能登外浦4期地区)
・ 白山頭首工の改修	141,788	継続1地区(手取川流域地区)
・ 河北潟地区揚水機場の改修	66,623	継続1地区(河北潟地区)
・ 農業用施設を活用した小水力発電及び太陽光発電 の整備	310,000	継続2地区(能美市官竹用水地区、内灘町河北潟地区)
4 森林資源の利活用と林業の活性化		
・ いしかわ森林環境税による森づくりの推進	501,449	手入れ不足人工林における強度間伐の実施、森づくり活動 の普及啓発など
・ 木材生産流通体制の活性化	522,000	高性能林業機械や木材加工流通施設の導入に対する支援な ど
・ 住宅等への県産材の利用促進	10,200	県産材を一定量以上使用した住宅等に対する助成
・ 松くい虫被害の予防・対策	200,243	空中散布等による松くい虫被害の蔓延防止
・ 白山白川郷ホワイトロードの利用促進	2,000	利用促進キャンペーンの実施など
・ 森林整備の推進	980,082	間伐・枝打などの森林整備に対する助成
・ 林道の開設	487,948	新規3路線、継続7路線(㊦佐比野線、西山線、 安谷線ほか)
・ 治山対策	1,053,306	新規8地区、継続52地区(㊦珠洲市若山町出田地内、 ㊦金沢市四十万町地内、㊦白山市中官地内ほか)

事業名	金額(千円)	説明
5 漁業の振興と水産物の安定供給		
・ ⑩いしかわ水産振興ビジョン(仮称)の策定	1,500	本県水産業の振興を図る基本方針の策定
・ 能登とり貝のブランド化推進(再掲)	2,270	
・ 県産どじょうのブランド化による里山の振興と食文化の保全(再掲)	2,252	
・ 海女文化の継承と振興	6,600	⑨アワビ資源量増大に向けた実証、新規就業海女への技術習得支援、⑩伊勢志摩サミットでの情報発信など
・ 海女の漁場となる藻場の再生による里海保全	2,100	海女によるウニの駆除等の藻場再生活動に対する助成
・ わかしお塾による人材の確保・育成	1,000	就業希望者に対する体験乗船の実施、就業者のスキルアップに向けた講座の開催など
・ 漁業取締船「てどり」の更新	6,480	代船建造に係る実施設計
・ 魚礁設置による沿岸漁場の造成	113,400	新規1地区、継続3地区(⑩輪島地区、飯田地区、鵜浦地区ほか)
・ 漁港施設の整備	630,208	新規15漁港(⑩珠洲市蛸島漁港、⑩輪島市鹿磯漁港、⑩加賀市橋立漁港ほか) 継続13漁港(珠洲市狼煙漁港、輪島市舩倉島漁港、志賀町富来漁港ほか)
・ 市町漁港整備事業に対する助成	39,136	七尾市など6市町
6 地域の強みを活かした里山里海の振興		
・ 里山振興ファンドの拡充(53億円→120億円)	2,000,000	⑩地域資源を活用した生業の創出など
・ ⑩石川型スローツーリズムモデルの推進 組織・体制の整備や気運の醸成	5,000	全県的な組織の立ち上げ、トライアルツアーの実施による課題の抽出など
先行地域におけるモデル的な取り組みへの 支援(里山振興ファンド)	22,000	地域の食を中心とした魅力のネットワーク化に向けた計画の策定、多様な滞在メニューの開発支援など
・ 世界農業遺産「能登の里山里海」の魅力発信	14,500	⑩体験実習により世界農業遺産の魅力や取り組みを発信するプログラムの創設、ロゴマークを活用した未来につながる「能登の一品」の認定・普及など
・ 世界農業遺産における国際貢献の推進	1,000	新たに認定を目指す国からの研修生の受入
・ 海女文化の継承と振興(再掲)	6,600	

事業名	金額(千円)	説明
・ 海女の漁場となる藻場の再生による里海保全 (再掲)	2,100	
・ イノシシ等鳥獣による農作物被害防止対策の充実	143,208	効果的な防護柵の設置等に対する支援、㊦専門家による現地捕獲指導の実施など
・ 里山ブランド「いしかわジビエ」の普及推進	5,500	㊦料理研修会や料理フェアの開催など
・ 地域ぐるみで行う農山漁村の多面的機能の保全	929,740	農地・農業用水等の良好な保全活動を行う集落への支援
・ 中山間地域における営農継続の推進	532,768	生産条件の不利な中山間地域での農業活動維持への支援
・ 環境に配慮した営農の推進	53,614	地域で行う農薬・化学肥料の5割低減活動や、有機農業の取り組みなどへの支援
・ 老朽化したため池の改修・補強	597,761	新規6地区、継続16地区(能登町笹川地区、 ㊦かほく市弁天池地区ほか)
・ 災害防止のための用排水施設の整備	417,609	新規2地区、継続2地区(㊦松任南部地区、 ㊦郷用水第4地区ほか)
・ 農業用施設の耐震化整備	93,483	農道橋の耐震補強(2橋)、 ため池の耐震性能調査(県内全域)